次世代へつなぐ足腰の強い農業技術の基盤づくり

～成果をつないでスキルアップ～

活動年次：令和3～7年

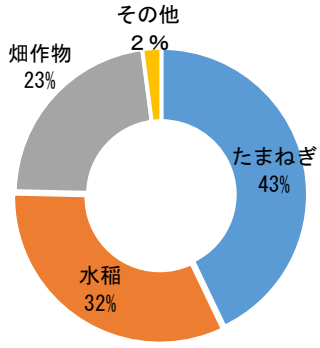
上川農業改良普及センター富良野支所

1　課題設定の背景 **********

対象：中富良野町旭中北三地区（6戸）

対象地域の農業者と普及指導員

経営主の平均年齢：43歳
労働力　：3.7人/戸
耕地面積：111ha
**　平均耕地面積:18.6ha**
（最大26ha　最小10ha）



対象地域の作物作付面積割合

地域の現状

経営規模の拡大
　耕作地の点在化
　作業競合による労働負担の増加
肥料価格の高騰
秋まき小麦の縞萎縮病が発生
経営移譲、Uターン就農など世代交代が進む

主要作物の安定的な収量品質の確保
・省力化・低コスト技術の検証と活用
・秋まき小麦の基本技術の改善

経営管理能力の向上
・財務諸表の作成
・SWOT分析の実践

▶ **農業所得の維持・向上へ**

2　活動の経過 **********

主要作物の安定的な収量・品質の確保

●マッピングによるほ場管理台帳の作成、施肥改善
農業者と全ほ場の土壌診断を実施。結果をマッピングしたほ場管理台帳を用いて、たまねぎの施肥改善を実施。

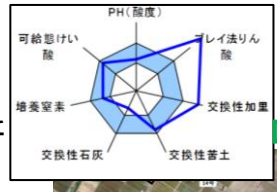
●地力の維持向上
土壌物理性改善の提案（心土破砕、緑肥作付、堆肥利用）

●省力化・コスト低減技術の検証と活用
水　　稲：無代かき栽培実践者の生育状況を新たな取組希望者に情報提供。土壌分析結果に基づく施肥改善を提案。
たまねぎ：減肥の実証ほを設置。農業者４戸に栽培改善の取組みを支援。

●畑作物の安定生産
秋まき小麦「ゆめちから」の施肥効果を確認する試験ほを設置。生育や農作業状況に応じた施肥提案を実施。

経営管理能力の向上

●経営改善プランの作成・実践
若手農業者２戸に対し、貸借対照表の作成、SWOT分析、経営改善プラン作成、改善目標の達成に向けた支援を実施。



土壌診断結果を地図にマッピング

ほ場管理台帳に基づく施肥改善

3 活動の成果 **********

主要作物の安定的な収量･品質の確保

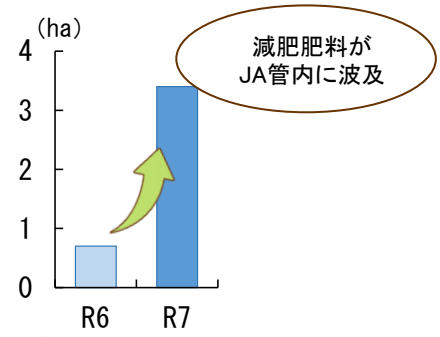
肥料価格の高騰を背景に、普及センターが提案した改善技術により、水稲、たまねぎ、秋まき小麦の生産性を維持しつつ低コスト化を実現した。

水稲のリン酸・加里低減肥料は重点地区3.4ha（２戸）で実施

ＪＡ管内
170haに波及

肥料代は10a当り2,175円安くなった！

慣行と生育や収量が同じなので、来年は減肥する面積を増やそうかな

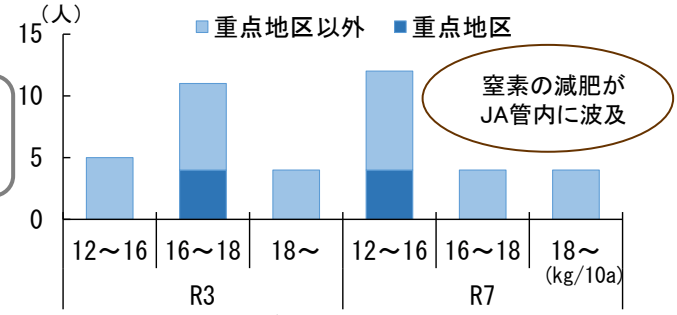


PK減肥肥料の施用面積

たまねぎ窒素減肥は重点地区４戸で実施

ＪＡ支部
10戸で実施

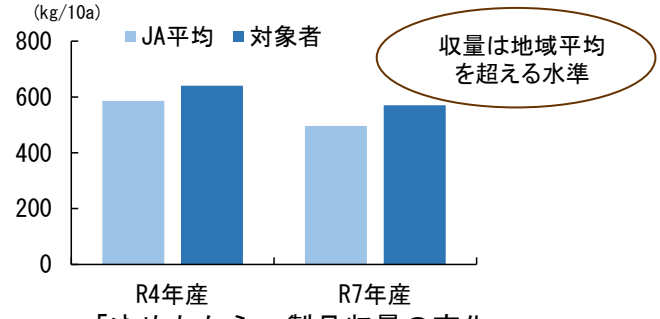
たまねぎの品質を高めたいので、窒素施肥量を減らしたよ



たまねぎ 窒素施肥量の変化

生育データに基づく３年間の活動により対象者の秋まき小麦の製品収量が安定

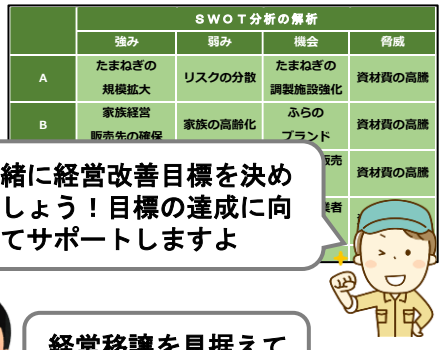
追肥を改善したら収量が安定したよ



「ゆめちから」製品収量の変化

経営管理能力の向上

●経営改善プランの作成・実践

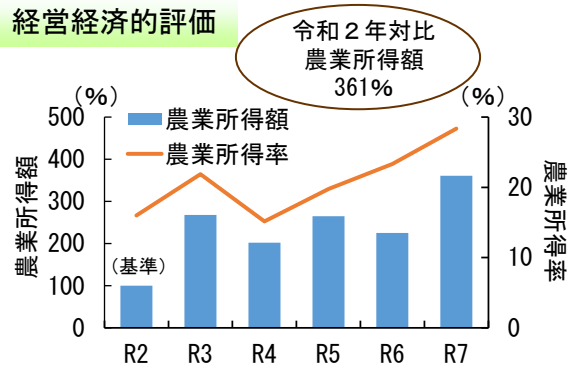


	SWOT分析の解析			
	強み	弱み	機会	脅威
A	たまねぎの規模拡大	リスクの分散	たまねぎの調製施設強化	資材費の高騰
B	家族経営 販売先の確保	家族の高齢化	ふらのブランド	資材費の高騰
			販売	資材費の高騰
			者	

一緒に経営改善目標を決めましょう！目標の達成に向けてサポートしますよ

経営移譲を見据えているので助かったよ

経営経済的評価



対象農家の農業所得状況

令和２年対比 最終年度農業粗生産額 150%

4 今後の活動 **********

普及計画策定時の目標が概ね達成されたため、本年度をもって活動を終了する。
今後の対応は、一般活動で行う。